

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			机上活動以外はテーブルを折畳、運動スペースが確保できるようにしている
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4		・常勤3名、非常勤(兼務)3名、児童発達支援管理責任者1名で対応しているがコロナ関連、急病等による対応として、数名のスタッフの補充が望ましい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			・段差がない状態を確保している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・代表の意見、目標、振り返り ・職員会議にて職員相互の確認
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・データ化して結果の回覧 ・職員会議にて結果報告
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・ホームページで公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		5	・第三者評価を設けていない。検討中
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・コロナの影響により外部研修が少ないため、オンラインにて受講している。必要な研修に関しては社内研修を実施	
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		1	・児童発達支援管理責任者が保護者に面談し意向を確認し、児童の成長に合わせ個別支援計画書を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	2	・標準化されたアセスメントツールの使用はないが、利用者の状況や保護者の希望、困り感などを記録する独自のアセスメントシートを用いて状況把握に努めている。また、受診後には保護者より医療情報提供書を頂き現状把握に努めている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		・子ども特性に合わせたプログラムの検討を実施している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・四季に合わせた制作活動や行事計画を検討し固定化しないよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			・平日と長期休暇の利用日では取り組む療育内容を検討し対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・子どもの特性に応じた個別活動、小集団活動への取り組みで個別支援計画書を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・朝礼にて当日利用の支援内容を確認している
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・夕礼にて当日の支援内容の振り返りを実施 ・日々の記録を基に業務日誌で確認し反省や気づきの共有を行っている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・支援目標を記載した別用紙に記録し、個人記録に反映させる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・利用者の更新月に合わせ年2回実施（中間・終結） ・必要に応じてケース会議を実施
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7			・ガイドラインに沿って検討しながら支援している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・担当者として児童発達支援管理責任者が参加している ・新規利用児の担当者会議にはスタッフも同席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・下校時間や年間予定は保護者から書面で情報を頂いたり、学校からの文書（お便り・FAX）等で管理してる。 ・送迎時、担任からの申し送りに関しては事業所間で情報共有を行い、トラブル発生時には管理者および代表へ連絡し対応している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				・該当なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	5	・児童発達支援センター等の専門機関との連携はないが、相談支援事業所や子ども福祉協議会等への参加をし支援や法令に関する研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	・コロナの感染予防から他児童との交流場所への活動は自粛している。コロナが落ち着いたら公園や児童館での活動も検討し他児童との交流の場も検討する
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	4	・子ども福祉協議会への研修の参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・連絡帳にその日の療育内容や様子を記入したり、送迎時に直接保護者に児童の様子を伝えている。また、電話やライン等で保護者との情報共有を行い、常に利用者の状態を共通理解し支援している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		4	・ペアレント・トレーニングではないが、保護者からの相談や困り感に関する助言を行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時に契約書、重要事項説明書を基に書面の提示及び口頭にて説明している

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・相談があった場合の対応以外に、通常と違うご様子の時は声かけするよう心がけている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	・コロナにより未実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・現在、苦情等はないが苦情等があった場合に対応出来るようマニュアルやフローチャートは作成している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・お便りの配布 ・ホームページ掲載
	35	個人情報に十分注意しているか	7			・鍵付き書庫にて保管。また、社員に対しては個人情報に関する誓約書を取り交わしている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・分かりやすい言葉で伝えるよう配慮している。言葉での意思疎通が苦手な児童にはジェスチャーや指差し確認で意思確認を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	・コロナのため実施していない。機会があれば避難訓練等に参加して頂く様声掛けを検討している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・マニュアルを作成し、フローチャートを社内に掲示している。 ・保護者の希望があればいつでもマニュアルは閲覧出来るようにしてあるが保護者への周知はされていない。今後お便り等で周知するよう検討する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・避難訓練、防災訓練を年に数回実施。土曜日に実施することが多いため、多くの児童が参加できるよう長期休暇日の平日に訓練するよう検討する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・虐待防止、身体拘束等の適正化委員会の設置 ・年間研修予定を4月に全職員に通達
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	2		5	・4月より虐待防止・身体拘束等の適正化委員会の設置及び指針、マニュアルを作成している。 ・現在、該当者はいないが必要な時には、個別支援計画書の見直し、保護者への説明同意、経過観察、廃止計画等の対応するフローチャートは掲示している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・該当なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・ヒヤリハット発生事案を基に職員会議で検討をし改善策を共有している